

Japan-YWP第12回(2021年度)総会

Japan National Young Water Professionals (Japan-YWP)は、International Water Association (IWA) 日本国内委員会 (IWAの日本支部)の下部組織として、2010年3月5日に設立されました。Japan-YWPは、日本水環境学会、日本水道協会等と密接な連携をとりながら、上下水道・水環境に関連する分野の学術的研究・知識の普及・水環境保全への積極的な貢献を目的とした若手中心の組織です。教育・研究機関、官公庁・自治体、民間企業に所属する水関連の若手が広く集まることで、分野・職種間の交流を促進し、水問題に関する様々な情報交換を行うプラットフォームを構築しています。また、他国のYWPとも交流を行うことで、若手の国際ネットワークを広げております。

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ウェブセミナーの開催や、メーリングリストを通して会員の皆様にイベント情報をお伝えして参りました。来年度につきましても、会員の皆様に情報交換や交流の機会を創出できるよう努めていきたいと考えています。

以下にJapan-YWP新代表についてのご紹介と本年度活動報告および来年度の予定等についてご報告させていただきます。

新代表について

第7期(2022~2023年度)Japan-YWPの代表として、現Japan-YWP運営委員は、野村洋平氏(京都大学 助教)を推薦いたします。野村氏は愛媛大学大学院で博士課程を修了されたのち(研究テーマ:回転円板型促進酸化装置による実廃水中微量化学物質の除去技術の開発)、愛媛大学および高知大学で博士研究員として研究に従事されてきました。そして、2020年から東京大学で特任助教を務め、2021年8月より現職である京都大学の助教となっています。現在は微量有機化学物質の除去技術や、物理・化学的酸化反応による水処理技術の開発に取り組みつつ、Japan-YWP運営委員としても活動されています。野村氏は全国各地に人脈を持つだけでなく、研究面で国際的にも活動されていることから、Japan-YWPを大きく発展させていけると確信しています。

本総会をもって、野村氏の代表就任を承認することについてご意見がございましたら、2021年度総会アンケート([こちらをクリック](#))にご記入ください。

2021年度の活動報告

総務関連

1) 会員現況 (2022年3月時点)

会員数: 535名 (2021年1月から+32名)

所属別の割合: 官公庁・事業体: 18%、民間45%、教育機関(大学・研究機関): 35%、
その他: 2%。

2) メーリングリストの管理

昨年度に実施した対応により、2021年度は送信されたメーリスへの返信(自動応答など)が全体メーリスに流れてしまうことが一度も起きませんでした。年度末には、年度始めから所属や連絡先が変更になった場合の登録変更手続きに関する連絡を行うことで、メーリングリストが不通となることを避けます。

3) Japan-YWP活動費 経理報告

Japan-YWPでは、2011年11月にIWA-ASPIRE組織委員会より、活動費として2,017,306円の補助を受けた。IWA日本国内委員会の承認を受け、Japan-YWP運営委員が本活動費の経理を担当し、Japan-YWP専用口座に移管し、以降の活動費や運営費としています。

以下に2021年度の経理状況を示します。

2021年度(2021年4月1日～2022年3月15日)の経理状況

収 入

| | |
|-------|------------|
| 前年繰越金 | ¥2,235,129 |
| 利息収入 | ¥23 |
| 合計 | ¥2,235,152 |

支 出

| | |
|-------------|---------|
| メールリスト維持費 | ¥26,136 |
| ホームページ維持管理費 | ¥39,336 |
| Zoom利用料 | ¥18,821 |
| 会議室利用料 | ¥2,970 |
| 雑費(振込手数料等) | ¥460 |
| 合計 | ¥87,723 |

資金残高の推移

| | |
|------------|------------|
| 移管資金 期首残高 | ¥2,235,129 |
| 次期繰越活動増減差額 | ¥△87,700 |
| 移管資金 期末残高 | ¥2,147,429 |

広報関連

1) ニュースレターの発刊

URL: http://www.japan-ywp.site/src/57444468/Newsletter_No.20.pdf?v=1645845971928

2) IWA Specialist GroupのニュースレターにJapan-YWPの活動を紹介

IWA Health Related Water Microbiology (HRWM) Specialist Groupの[ニュースレター\(Vol.23\)](#)にてJapan-YWPの活動を紹介いたしました。

企画関連

2021年度におけるJapan-YWP関連イベントの実施状況を下表に示します。国内イベント5件、国際イベント2件の計7件を主催・開催協力いたしました。

2021年度の開催イベント等

| 時期 | セミナー(場所/言語) |
|-------------|---|
| 2021.8.10 | Japan-YWP 第9回国際シンポジウム (Web/英語) |
| (2021.8.20) | 第1回佐渡島サイエンスプロジェクトでの実験教室(対面/日本語) ※新型コロナウイルス感染拡大によりイベントが中止 |
| 2021.8.25 | Global Coordination Call (IWA-YWPイベント): 橋口亜由未運営委員がJapan-YWPの取り組みを各国YWPに向けて紹介 |
| 2021.9.17 | 第15回JWRC水道講座 (Web/日本語、開催協力) |
| 2022.2.6 | Japan-YWP お仕事セミナー 2022 (Web/日本語) |
| 2022.2.17 | 第16回JWRC水道講座 (Web/日本語、開催協力) |
| 2022.3.16 | ゆるっと水のことを語る会 Japan-YWP2021 (Web/日本語) |
| 2022.3.30 | Global Coordination Call (IWA-YWPイベント): 後藤正太郎運営委員がJapan-YWPの取り組みを各国YWPに向けて紹介 (Web/英語) |

その他: ウェットスキルズ財団より「Wetskills-Japan 2021 (6/29~8/5開催)」への開催協力の打診があり、野村洋平運営委員が審査委員として参加。

2022年度の活動予定

企画関連

■ Japan-YWP国際シンポジウム(水環境学会WET2022) (2022年8月、Web)

※この他、4月以降にウェブセミナーを開催予定です。詳細が決まりしだい、HPおよび会員メーリスにてご連絡いたします。

参考資料:第6期運営委員(2020-2021年度:2022年3月現在)

| | |
|---------------|---|
| 代表 | 栗田宗大(電力中央研究所) |
| 副代表 | 高田一輝(三菱総合研究所) 長尾麻未(NJS) 藤木一到(EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社) 渡利高大(長岡技術科学大学) |
| 関西支部長 | 横井貴大(水道技術研究センター) |
| 運営委員 | 新井美帆(西原環境) 石井淑大(国土技術政策総合研究所) 大石若菜(東北大学) 大野翔平(水ingエンジニアリング) 神田峻(水ingエンジニアリング) 北尾亮太(ヴェオリア・ジェネッツ) 熊越瑛(日本下水道事業団) 後藤正太郎(University College London、学生委員) 柴野汐理菜(坂戸、鶴ヶ島水道企業団) 鈴木真実(神奈川県内広域水道企業団) 多田悠人(京都大学) 蝶名林郁也(日水コン) 丁青(中央大学) 野村洋平(京都大学) 橋口亜由未(島根大学) 秦裕弥(日水コン) 服部啓太(土木研究所) 羽深昭(北海道大学) 濱田祐綺(JFEエンジニアリング) 林祥一(オリジナル設計) 平片悠河(産業技術総合研究所) 松永光司(北海道大学、学生委員) 山梨由布(群馬大学、学生委員) 雪岡聖(京都大学) 吉田健人(日立製作所) 渡部龍一(京都大学、学生委員) |
| アドバイザー | 片山浩之(東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 都市環境工学講座 教授) 市村敬正(公益社団法人日本水道協会 研修国際 部長) 本田康秀(国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業調整官) |